



Rimi Saito

### 熊本地震を教訓とした対策強化を

**答弁** 指定避難所以外の施設活用も考えられます

## 防災・減災の取り組み

**問** 4月14日・16日に熊本地震が発生しました。熊本地震の特徴は、これまでの地震とは異なる連続大地震で、ダメージも非常に大きなものとなりました。防災・減災の取り組みとして、業務継続計画（BCP）（\*4）策定について伺います。

**答** 大規模災害が発生した際は、町民の安全確保が第一ですが、生活支援のため平時の行政サービスの継続が求められています。BCP策定は必要と認識しています。今後、計画的に策定を進めたいと考えています。

**問** 指定避難所の建築物耐震化率は。

**答** 町内には、現在20カ所の指定避難所があり、16カ所が新耐震基準に適合しています。4カ所の耐震化は、施設のあり方の検討を踏まえた後、順次定めていきます。

### ハザードマップの活用方法は

**問** ハザードマップ（災害予測地図）の活用方法について伺います。

**答** ハザードマップは本年4月に毎戸配布し、避難などのため各家庭での活用のほか、自主防災組織等の研修資料としても活用していきます。

**問** 指定避難所以外の地域公民館及び地区公会堂の災害時の位置づけは。

**答** 町地域防災計画での位置づけはありませんが、災害後の状況により、いずれの施設も応急対策活動や地域共助活動等の拠点として活用されると考えています。



ハザードマップは防災研修にも活用されます

**ことば**（\*4）業務継続計画（BCP）…（Business Continuity Plan）災害や事故など通常業務の遂行が困難な状況が起きた場合に、事業の継続や早期に再開するための取り組みを定めた基本的な計画。75号の11ページでも解説しています。



協議会の設立総会を6月9日に開催

## 中心市街地活性化

**問** 中心市街地活性化事業の進捗状況と、認定申請までのスケジュールを伺います。

**答** 既に本年4月に㈱まちづくり寄居が設立され、6月には中心市街地活性化協議会が組織されます。現在の進捗は認定手続きの60%程度で、今年秋ごろには事業の取りまとめを行う予定です。

**問** 中心市街地活性化の目標項目、重点事業は。

**答** 人が集まる、賑わいを取り戻す仕組みづくりが重要。指標としては「歩行者・自転車通行量」「居住人口」を考えています。そのためには、寄居駅南口駅前広場の整備、都市計画道路中央通り線改良事業、水天宮祭や北條まつりなどの活用や玉淀河原等の観光・集客拠点整備も重要と考えています。また、民間の力を活かした商業活性化事業や福祉事業などの展開も期待しています。

### 事業に対する町長の決意は

**問** 市街地本通り線沿いに大型商業施設出店計画という情報があり、実現すれば通行量、賑わい、買い物の利便性、来街者、居住者などのすべてが上向くと考えられます。それでも今、中心市街地活性化に取り組むという町長の決意を伺います。

**答** 中心市街地活性化は、長きにわたる重要な懸案で、多くの町民の願いです。寄居町が寄居町であるために極めて重要な事業であり、「今しかない、今やらねば」との機運も醸成しているので、全身全霊を傾注し、誠意を持って取り組みます。



Katsuaki Minogishi

### 大型店出店計画、中活への影響は

**答弁** 状況を注視し、全身全霊を傾注して取り組みます

### 児童生徒の防犯対策は



Takashi Kanda

**答弁** 引き続き防犯・防災教育に取り組みます

**問** 熊谷市で発生した凄惨な事件以降、犯罪や防犯に関する情報提供のあり方が重要になっていますが、事件前後の当町における情報発信件数と、情報メール配信サービスの登録状況を伺います。

**答** 昨年度4月から事件発生までの犯罪・防犯情報発信件数は12件、発生後から年度末までが42件です。メール配信の登録件数は現在919件。事件発生後から現在までの登録は358件と著しく増加しています。

**問** 町の公式フェイスブックによる犯罪等の情報閲覧数が1日約1000回に上るのは、町民が正確な公式見解情報を求めているものであり、今後は町公式ツイッター等の活用も必要と思われます。

**答** まずはフェイスブックでさまざまな情報発信を行っていきたく考えています。ツイッターに関しては今後研究します。

**問** 万が一、児童生徒が不審者に遭遇したときの対応をどのように指導していますか。

**答** まずは「逃げること」を最優先に、大声を上げたり、防犯ブザーを鳴らしたりしながら、「子ども110番の家」（\*3）をはじめとした近隣家屋に逃げ込むように指導しています。

**問** 児童生徒からの積極的な大きな声のあいさつは、不審者等に対する犯罪抑止効果が大きいようです。身を守る手段の観点からもあいさつの徹底が重要です。

**答** 防犯教育とあわせて、元気なあいさつについても指導していきます。

**問** 防犯教育とあわせて、元気なあいさつについても指導していきます。

### “大きなあいさつ”が効果的

**問** 児童生徒からの積極的な大きな声のあいさつは、不審者等に対する犯罪抑止効果が大きいようです。身を守る手段の観点からもあいさつの徹底が重要です。

**答** 防犯教育とあわせて、元気なあいさつについても指導していきます。



子どもたちの登下校を町全体で守りたい

**ことば**（\*3）子ども110番の家…子どもたちが登下校時や公園・広場等で、トラブルに巻き込まれそうになった時に、緊急避難先として駆け込める民家や事業所のことです。

## 寄居町の今とこれから 一般質問

今回は9名の議員が質問しました

寄居町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが一般質問。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）と、質問した議員ごとに1項目を要約してお知らせします。

まちづくり	桜を活用したまちづくり	神田	
	中心市街地活性化事業	峯岸	P.9
	公共施設の指定管理者制度による運営の状況	中嶋	P.10
	県環境整備センター埋立地の跡地利用	田母神	
	建設工事の入札	津久井	P.12
くらし	水道料金	大澤	
	デマンドタクシー	大澤	P.11
安全・安心	犯罪情報の発信及び防犯対策、防犯教育の現状	神田	P.8
	防災・減災の取り組み	佐藤	P.9
	アライグマ捕獲業務委託	中嶋	
	災害対策	大澤	
	防災対策	鈴木	P.11
	花園消防署寄居分署の建て替え	石井	P.12
	地震への備えと空き家の対策	石井	
	自転車保険	津久井	
教育	放課後サポートスクール	峯岸	
	インクルーシブ教育の推進	鈴木	
福祉・医療	不育症に対する取り組み	佐藤	
	B型肝炎ワクチンの予防接種の取り組み	佐藤	
	後期高齢者医療制度の今後	田母神	P.10
	医療制度のさらなる充実	田母神	